

「心を浮かべて2011」With Mind Released

著者	林 亨
雑誌名	北翔大学北方圏学術情報センター年報
巻	4
ページ	157-159
発行年	2012
URL	http://id.nii.ac.jp/1136/00001080/

作品発表

「心を浮かべて2011」

With Mind Released

林 亨

作品発表

「心を浮かべて2011」

With Mind Released

林 亨

北翔大学生涯学習システム学部芸術メディア学科

2008年から取り組んでいる「心を浮かべて」シリーズは、2011年12月に、東京で発表した作品を過渡的な作品として、さらに今回掲載した作品へ大きく変化した。それは、キャンバス上に、ものの再現性がはっきり確認できるようにした点である。それを含めて、今回の作品の特徴ともいえるべき、前作から大きく変わった三つの点について説明する。

掲載写真の作品は、2012年2月4日から、札幌市の大通り地下に出来た「500メートル美術館」のオープニング記念展に出品したものである。大きさは、市販キャンバスF80号大で、木枠に、ベニア板を貼り付け、キャンバスを貼ったものである。基底材の地塗りは今までとは違い、絵の具を何層にも塗り重ねた。したがって、基底材としての紙や布が持つ絵の具の浸透性は、利用できなくなり、その時点で、この作品の方向性がこれまでの作品とは違うことになる。つまり、画面の空間表現は、基底材の材質に頼らず、絵の具そのものの性質を専ら利用して施されることになる。基底材の性質を利用しながら新しい奥行き感を模索していた「眼を閉じて」シリーズの変遷からいうと大きな変更であった。

さて、再現した「もの」はなんであるか。実は、絵の具の層を重ねながら再現したのは、「風景」である。ただし、忠実に再現したものではなく、どうか風景らしきイメージが見て取れるという程度のものである。実際にある風景を元にして描いているが、構造のようなものを再現しようとしただけで、詳細な描写はない。その「風景」がどこであるかは筆者にとっては重要ではないが、「池」や「湖」がある風景である。昨年来の自然災害などを目の当たりにして表現のモチーフに「水」を扱うことが多くなったからだと思われる。

二点目の変更点は、カットキャンバスをなくし、矩形キャンバスだけの展示にした点である。「心を浮かべて」シリーズの作品は、これまで矩形キャンバスと描画されたカットキャンバスを組み合わせで展示するという方法をとっていたが、それは、「眼を閉じて」シリーズで2000年頃に「絵画インスタレーション」と銘打って発表していた。展示空間すべてを関係づけたようなインスタレーション展示ではなく、あくまで矩形キャンバス部と

展示壁との関係性から発想したものであった。今回のこの三点は、同時に制作した連作であり、展示される場との関連性なども意識したものである。しかし、作品単体としての作品成立度という点からいうと、つまり四角いキャンバスのみで作品と成立させた点で、「心を浮かべて」シリーズから大きく外れる作品かもしれない。もしかすると、今回の作品をシリーズ最終作とし、別のシリーズを開始するべきではないかと考え始めている。

それから、もう一つ重要な変化がある。それを述べる前に、友人の建築士N氏の自作に対する講評を紹介する。

「いずれにしても、あの明るく明滅するような、まるで記憶の底に忘れ去られた脳裏をよぎる光を見るような、そんな点描によって空間の奥行きがとて深く感じた。今までの林作品はその画面から見える深い奥行きを、観る者の頭の中で辿っていたように思うが、今回見た作品は、ベースにある絵画が自然風景を想起させているせいか、頭ではなくて、まるで身体ごと、あの点描をすり抜けて絵画に引きずりこまれるような、そんな身体的な感覚に襲われた。」

これは、筆者にとってきわめて重要な問題を含んでいる。いわゆる「身体性」の問題である。これまで、筆者がよく問題にしたのは、表現する側の身体性についてであった。例えば、ドリッピングを描画技法としていた時も、筆や刷毛の描画行為にはない、体の動きについて試行錯誤し描画に活かす努力をした経験がある。しかし、「絵画に引きずり込まれる」という言葉にあるように、鑑賞者が作品を見ることによって、鑑賞者の身体に影響を与えるという作用を、意識的に考えることはなかった。あるいは、他の作用に含めて捉えていたのかもしれない。そうすると、画面にちりばめられたような蛍光色の筆触は、何を意味するのか。N氏は、「光」と見たかもしれないし、何かしらスイッチのように感じたかもしれない。画面に引き込む装置のスイッチ。いずれにせよ、一見違和感のあるこの痕跡は、「たおやかさのかたち」から継承している、私の絵画をとおして表現したい世界を理解する鍵になるものである。

心を浮かべて With Mind Released

林 亨

HAYASHI Toru



心を浮かべて (MIZUHO) 綿キャンバス・アクリル・墨 112cm×145cm 2012年



心を浮かべて (NEDU) 綿キャンバス・アクリル・墨 112cm×145cm 2012年

心を浮かべて With Mind Released

林 亨

HAYASHI Toru



心を浮かべて (stow) 綿キャンバス・アクリル・墨 112cm×145cm 2012年



心を浮かべて 展示風景 500m美術館オープニング記念展【後期展】2012年2月4日～5月6日 札幌大通地下ギャラリー500m美術館（札幌）